

学校飼育動物とのお別れ

みんなの  
がっこう  
のどうぶつ

 公益社団法人 栃木県獣医師会  
〒320-0032  
栃木県宇都宮市昭和一丁目1-23  
tel 028(622)7793  
fax 028(621)9660  
mail [tochivet@viola.ocn.ne.jp](mailto:tochivet@viola.ocn.ne.jp)

INDEX

1

生き物には必ず  
寿命があります

2

小学校での動物  
飼育には限界も  
ある

3

命を知るために  
「死別」  
は避けられない

4

児童が悲しみを  
乗り越える機会  
を与えるために

## 》生き物には必ず寿命があります

一般的にウサギの寿命は8年～10年とされています。

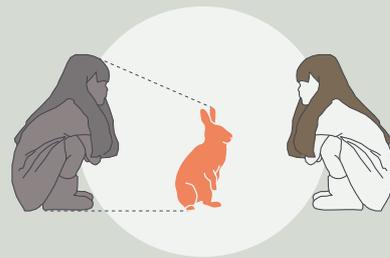
しかし、大切にお世話することで平均的な寿命以上に長生きしてくれることも多いです。

長生きしてくれる分、**癌や介護が必要なことが多いのは人間の場合と全く同じ**です。



適切な対応ができないと、動物にとって酷い状況を児童たちが目にすることはよく経験するところです。

酷い状況にある**動物が放置される状況を、児童達は自分達に重ね合わせて「放置されること」と「放置すること」を知るだろうと想像**されます。



小山市内の小学校で飼育されていたココア（右）はミルク（左）と一緒に飼育舎で生活していました。

ココアは神経の病気になり下半身が麻痺してしまい動物病院に入院することになりました。

退院が望めない長期の入院になることが予測されました。



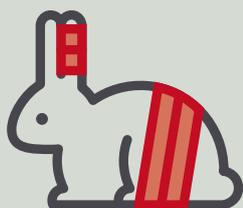
写真はミルクとココアを合わせてあげたいと考えた飼育委員さん、先生方のご希望に応え、動物病院から外出させて一緒にしてあげた場面です。

## 》小学校での動物飼育には限界もある

生き物は必ず調子を崩すことがあります。

一時的な体調の変化や  
一時的な病気

の場合



短期的な治療や介助で元の健康を取り戻すことができます。

癌や治らない病気や  
老化による変化

の場合



手術が必要な場合や継続的な治療や介護が必要になる場合があります。



このような場合には、**小学校の児童たちだけでは限界があります。**飼育担当の先生や他の先生方の協力があっても限界があることは避けられない事実です。



：小学校の先生提供

外出してきたココアを通して飼育委員会に「命の授業」を行っている場面。

遠からず来るだろうココアとの死別をしっかりと受け止めて、「生きているからこそ」に関連付けることを目的として実施しました。

## 命を知るためには「死別」は避けられない

命を知るためには、「生まれる」を知ることと同時に「死ぬ」を知ることが避けることはできません。

特に、ゲームなどで「殺すこと」を日常的に仮想体験している最近の児童たちは、大切な存在と自分の思いとは別に死別することを実体験することで、頭では知っている「悲しみ」は、心の奥底から湧き上がり、抑えることができない感情であることを知る必要があります。

大切な存在との死別を実体験し、周囲の人たちと悲しみを共有することで自身が死んだ時の周囲の悲しみを想像し、自身の死の意味と家族の愛情、友達との友情や自分と関わる人たちの思いを考えることができるようになります。

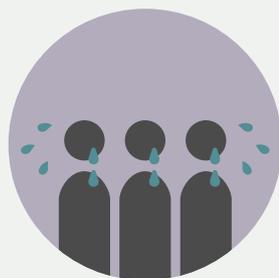
日本では「死」は縁起が悪いと考たり、不潔と考えたり、不幸が連鎖することを恐れ忌み嫌う傾向があります。

「子供は”死”を理解できない」と大人は考えますが、死を理解することは大人でも難しいことです。

児童たちには死を理解することよりも、死を通して様々な経験を経て悲しみを乗り越える方法を知ることが大切です。



抑えることのできない心から湧き上がる感情の経験



周囲の人との悲しみの共有

## 》児童が悲しみを乗り越える機会を与えるために

### METHOT 01



**みんなできちんとお別れする機会を  
もうけてあげる**

.....

亡骸を綺麗にし、たくさんの花で飾ってあげ、みんなでしっかりとお別れをさせてあげてください。

前述のようなことを考えると、動物の亡骸を児童たちの目に触れさせないで密かに校舎の裏に埋めてしまうようなことはせず、みんなでしっかりとお別れをさせてあげることが大切です。

### METHOT 02



**埋葬した場所に墓標を立てる**

.....

埋葬した場所に墓標を立てて、いつでも手を合わせたり、「ここに行けばいつでも会えるよ」と話してあげることが大切です。

決して汚いものや恐ろしいことと捉えさせないで、愛おしい存在がそこに休んでいるという気持ちを持ってもらえるようにすることが大切です。

## 獣医師会と連携があることは、保護者の安心になります

獣医師会は小学校さんの力になりたいと考えています。  
獣医師会との連携は保護者の安心にもつながりますので、  
遠慮なくご相談ください。

### 困ったときは、(公社) 栃木県獣医師会に連絡を

小学校で飼育している動物に関して、困ったことや  
頭を痛めていることがあるとき、病気の相談、飼育  
方法の相談など最寄りの獣医師会獣医師や(公社)  
栃木県獣医師会に遠慮なくご連絡ください。



公益社団法人 栃木県獣医師会



電話・ファックス・メールなど、どのような方法でも構いません。  
また、小学校名を伏せて教育委員会を通しての相談でも構いません。  
遠慮なくご連絡ください。